

中心市街地活性化に向けて

復興のさなかにある中心市街地は、古来より本市の商業や観光の中心であり、まちなかの魅力による回遊性や人々の交流機会を取り戻し、同地区の早期再生を図ることは、復興事業の優先事項の一つです。

このような中、「ひと」中心の豊かな生活空間の創出、低未利用地の再建、土地の利活用の可能性を探るための社会実験として、3月26日と27日の両日、紺屋町周辺で、人吉商工会議所主催の「人吉紺屋町HITONOWAマーケット」が開催されます。再びまちなかに人を呼び込むための施策として、まちなかに人々が集い、憩い、多様な活動を繰り広げられる場を創出し、人と人とのつながり、人とまちのつながりを再生していくための事業を展開いただくことは、本市の希望ある復興に必ずつながると思えます。

地域デジタル通貨の運用面充実を

地域デジタル通貨「ぎじょうまコイン」を活用したプレミ

り実行委員会で、令和4年度も開催を見送ると判断されています。現在、観光復興会議など民間の皆さまが中心となり、まちのにぎわいを取り戻すためのさまざまな取り組みを進めていただいています。が、本市も人吉観光の再生の取り組みを全力で支援していきます。

DMO登録を目指す人吉球磨観光地域づくり協議会

広域観光に関する取り組みですが、人吉球磨観光地域づくり協議会は、昨年6月、組織形態を一般社団法人へ移行しています。令和3年度は、地域連携DMO（観光地域づくり法人）への登録を目指し、その登録要件となる候補DMO（観光地域づくり候補法人）へ申請をしています。同法人への登録には、多様な関係者の合意形成や各種データの効果的な活用、観光プロモーションなどの戦略的展開など、クリアすべき要件が多数ありますので、これまで以上に人吉球磨地域の自治体、観光関連団体、企業、事業所などの連携体制を強化し、登録に向けた動きを支援します。

アム商品券事業を、昨年12月6日から運用開始しています。12月24日には登録者数が5千人を超えるなど、予想を上回るスピードで多くの皆さまから好評をいただいています。今後ポイント制度など運用面の充実を図ることで認知度を高め、市民に愛され、地域経済の循環に貢献するデジタル通貨となるよう事業を展開します。

くまりばの整備おむね完了

人吉市まち・ひと・しごと総合交流館くまりばで整備を進めてきた簡易宿泊施設とレンタルキッチンが、3月1日から運用を開始します。簡易宿泊施設はワーケーション（ワーク（仕事）とバケーション（休暇）の造語）や企業合宿などでの利用を想定している。レンタルキッチンは料理教室のオンライン配信や事業者の商品開発など、幅広く利用していただきたいと考えています。

令和2年7月豪雨の浸水被害で中断した時期もありましたが、当初予定していたくまりばの整備事業は、今回の整備でおおむね完了します。今

後も、くまりばの拠点性などを生かし、その名のとおり、ひとや仕事と交流し、まちに元気と活力を与えるような施設に育て上げていきます。

ふるさと納税による応援に感謝

ふるさと納税関係ですが、令和3年度は2月24日現在で約2万9千件、約5億4千万円の寄付をいただいています。令和2年度は豪雨災害に関連する寄付が多かったこともあり、令和3年度は件数、寄付額ともに前年度より減少していますが、目標としていた年間寄付額5億円超を達成することができました。

企業版ふるさと納税は、9社から合計2億150万円の寄付をいただいています。豪雨災害からの復興を目指す本市にとつて全国の企業の支援は大変ありがたい、また一定の理解をいただいているものと思います。ふるさと納税を含め、本市を応援いただきました全ての皆さまに、心から感謝します。

新たな観光コンテンツを開発

観光関係ですが、令和3年度は観光庁事業の「既存観光



球磨川くだり発船場が生まれ変わり観光複合施設「HASSENBA」に

球磨川くだりの継続に向けて

昨年7月4日にリニューアルオープンした観光複合施設「HASSENBA HITOYOSHI KUMAGAWA」は、多くの市民や観光客でにぎわいを見せるなど、好調なスタートを切ることができました。また、建物のデザインなどは、一般社団法人リノベーション協議会が主宰する「第9回リノベーション・オブ・ザ・イヤー」で、全国228件の応募の中から、見



復旧工事が完了した東漆田石野線

事「総合グランプリ」を受賞されています。

幸先良いリスタートを切った球磨川くだりですが、コロナ禍などでの集客減に加え、現在も豪雨災害の影響で本業である川下り事業が再開できないなど、経営的には非常に厳しい状況です。球磨川くだりは人吉観光の復活になくてはならない事業ですので、本市も事業の継続に向けた方策を検討していきます。



くまりばに完成した簡易宿泊施設



人吉城跡石垣のライトアップなどで夜の絶景を創出

拠点の再生・高付加価値化推進事業」に民間、行政が連携し、宿泊施設の改修や各実証事業などを実施しました。主な取り組みは、明かりや景観の活用策として、人吉城跡石垣のライトアップなど夜の絶景を創り出す取り組みや、観光客を受け入れる新たな施策として、災害学習モデルツアーを企画しています。まちなかの周遊には手軽な移動手段としてシェアサイクルを導入するなど、新たな観光コン

人吉観光の再生を支援

春恒例の「人吉球磨のひなまつり」は、規模は縮小する形ですが、本市では鍛冶屋町通りや道の駅人吉・人吉クラフトパーク石野公園、協賛事業所などで雛人形の展示などを行うほか、各市町村でイベントなどを開催しています。コロナ禍や豪雨災害の影響などで一昨年から中止している人吉温泉まつりは、同まつり

は復旧工事が完了しています。そのほかの未着工箇所も、早期の復旧完了を目指し事業を進めます。

橋梁関係ですが、令和元年度に策定した橋梁長寿命化修繕計画に基づき、令和4年度は市道上林中神線に架かる羽田橋の補修工事を実施します。

5年ごとに実施している橋梁点検は、令和4年度、市内127橋の点検を予定しています。特に豪雨災害の影響なども考慮しながら、入念に点検を行います。

市民生活を支える生活関連道路の整備

土木関係ですが、市民生活にとつて重要な生活関連道路の整備として平成29年度から進めてきた市道戸越永葉線の下野町の改築工事は、令和4年度に完了する見込みです。また、瓦屋町の市道瓦屋川村線、瓦屋地内第2号線、合ノ原町の市道立石合ノ原線も、引き続き整備を進めます。今後、市民生活を支える生活関連道路として、市民が利用しやすい道路環境の整備に努めます。

8

組織別 建設部関連

公共インフラの復旧整備

公共土木施設災害復旧関係ですが、令和2年7月豪雨災害で被災した道路38カ所、橋梁5橋、河川12カ所について、現在、道路36カ所、橋梁4橋、河川10カ所の工事が着手済みで、そのうち、道路26カ所、橋梁2橋、河川5カ所